
令和3年度吉川市市民意識調査報告書

— 概要版 —



令和3年12月

吉川市役所はISO9001供給者適合宣言をしています。

1. 市民意識調査の概要

1. 調査の趣旨

この調査は、市政に対する市民ニーズが多様化している中で、市の取り組みについての市民の意向（満足度・重要度）や意識を調査・把握することを目的としています。

また、当市では、ISO9001供給者適合宣言を行っておりますので、このシステムに基づく要求事項9.1.2により、市民満足度を監視する調査として位置付けています。

この調査の実施に当たり、市内在住の18歳以上の男女1,500人（令和3年6月1日現在）の方にご協力いただきました。

なお、調査項目、調査時期等については次のとおりです。

2. 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 回答者の幸福感
- (3) 吉川市の住み心地
- (4) 吉川市への想い
- (5) 回答者の現状と認識
- (6) 吉川市の取り組みについての満足度
- (7) 吉川市の取り組みについての重要度
- (8) 特集①～⑤
- (9) 行政サービスについて

3. 調査時期

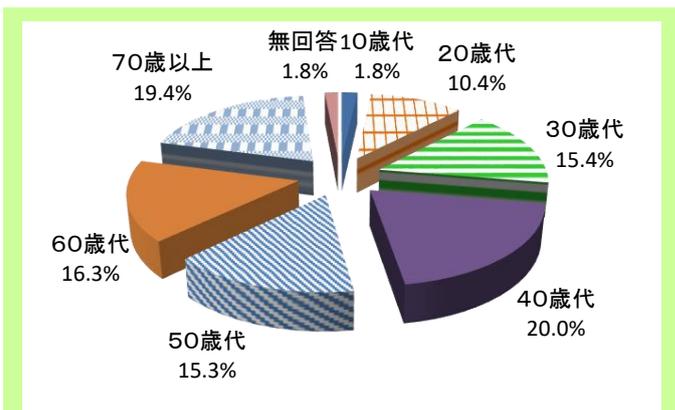
令和3年6月25日（金）から7月9日（金）まで

4. 調査方法

郵送配布・郵送回収による調査

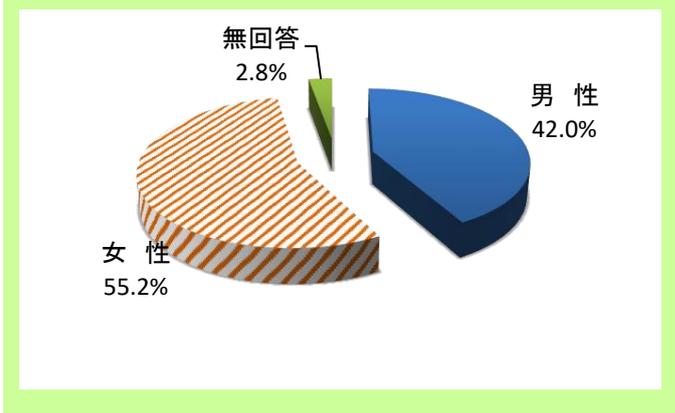
5. 回収結果

有効回収数（率） 681人（45.4%）



(1つ選択)

区分	実数	割合
10歳代	12	1.8%
20歳代	71	10.4%
30歳代	105	15.4%
40歳代	136	20.0%
50歳代	104	15.3%
60歳代	111	16.3%
70歳以上	132	19.4%
無回答	10	1.5%
母数	681	100.0%



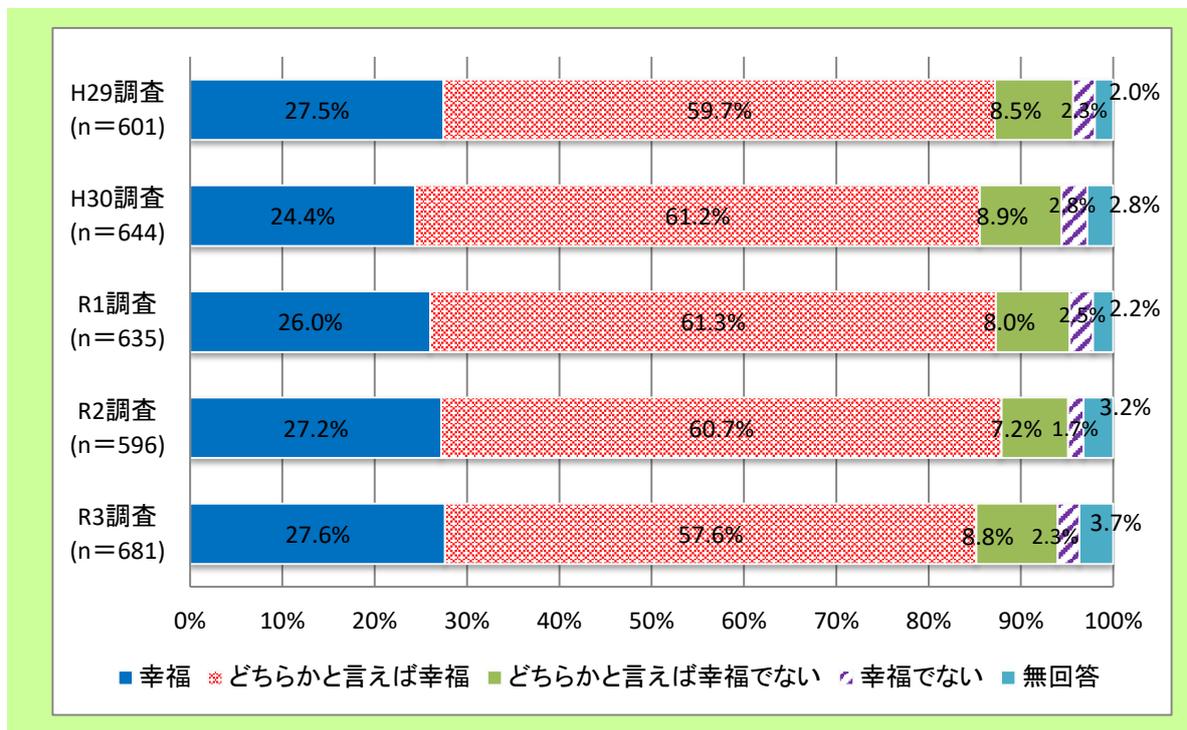
(1つ選択)

区分	実数	割合
男性	286	42.0%
女性	376	55.2%
無回答	19	2.8%
母数	681	100.0%

2. 回答者の幸福感

～ 回答者の85.2%が「幸福・どちらかと言えば幸福」と感じています ～

回答者の主観的な「幸福感」について伺ったところ、「幸福」188人（27.6%）、「どちらかと言えば幸福」392人（57.6%）、「どちらかと言えば幸福でない」60人（8.8%）、「幸福でない」16人（2.3%）となっています。
「幸福・どちらかと言えば幸福」は580人（85.2%）、「どちらかと言えば幸福でない・幸福でない」は76人（11.1%）となっております。



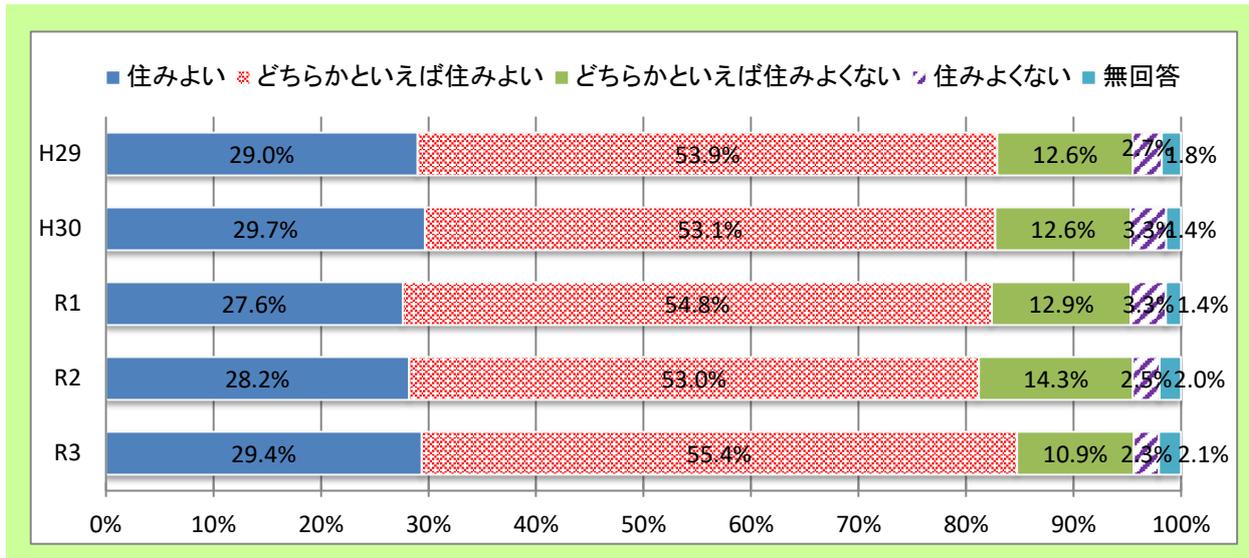
(1つ選択)

区分	H29	H30	R1	R2	R3	
					実数	割合
幸福	27.5%	24.4%	26.0%	27.2%	188	27.6%
どちらかと言えば幸福	59.7%	61.2%	61.3%	60.7%	392	57.6%
どちらかと言えば幸福でない	8.5%	8.9%	8.0%	7.2%	60	8.8%
幸福でない	2.3%	2.8%	2.5%	1.7%	16	2.3%
無回答	2.0%	2.8%	2.2%	3.2%	25	3.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	681	100.0%

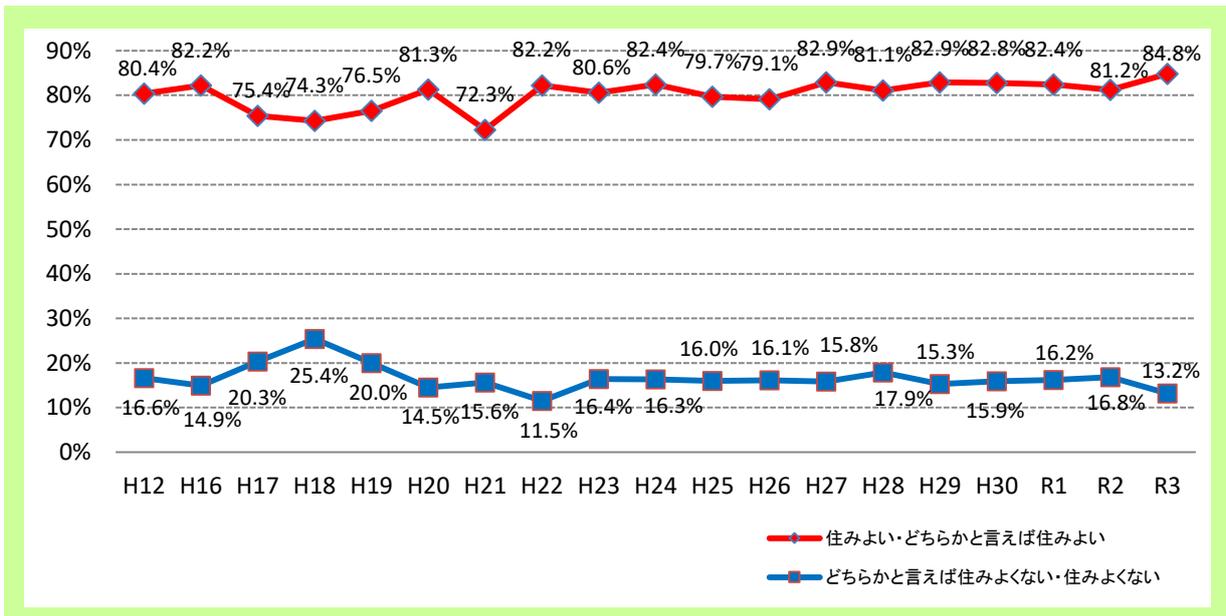


3-1. 吉川市の住み心地

～ 回答者の84.8%が「住みよい・どちらかと言えば住みよい」と感じています ～



～ 過去の調査結果を見ると「住みよい・どちらかと言えば住みよい」は約72%から約85%の範囲で推移しています ～



吉川市の住み心地を伺ったところ、「住みよい」200人（29.4%）、「どちらかと言えば住みよい」377人（55.4%）、「どちらかと言えば住みよくない」74人（10.9%）、「住みよくない」16人（2.3%）となっています。
 「住みよい・どちらかと言えば住みよい」の合計は577人（84.8%）でした。「どちらかと言えば住みよくない・住みよくない」の合計は90人（13.2%）で、平成23年からは約16%で横ばいとなっていたのですが、令和3年度は減少に転じました。

3-2. 吉川市の住み心地で「よい」と感じる点

～ 住み心地を「よい」と感じる点として7割以上の回答者が
「自然環境の多さ」「治安」「街並み(景観)」「買い物などの生活の
便」
「子どもの教育環境」「近所づきあい」をあげています ～



(該当するもの全て選択)

区分	実数	割合
自然環境の多さ	577	84.7%
治安	526	77.2%
街並み(景観)	512	75.2%
買い物などの生活の便	499	73.3%
子どもの教育環境	489	71.8%
近所づきあい	482	70.8%
福祉サービス	456	67.0%
地域との交流(自治会)	456	67.0%
公園の整備	448	65.8%
鉄道の便	430	63.1%
幹線道路の整備	410	60.2%
医療機関	407	59.8%
生活道路の整備	406	59.6%
文化施設の整備	388	57.0%
災害への備え	379	55.7%
スポーツ施設の整備	345	50.7%
バスの便	325	47.7%

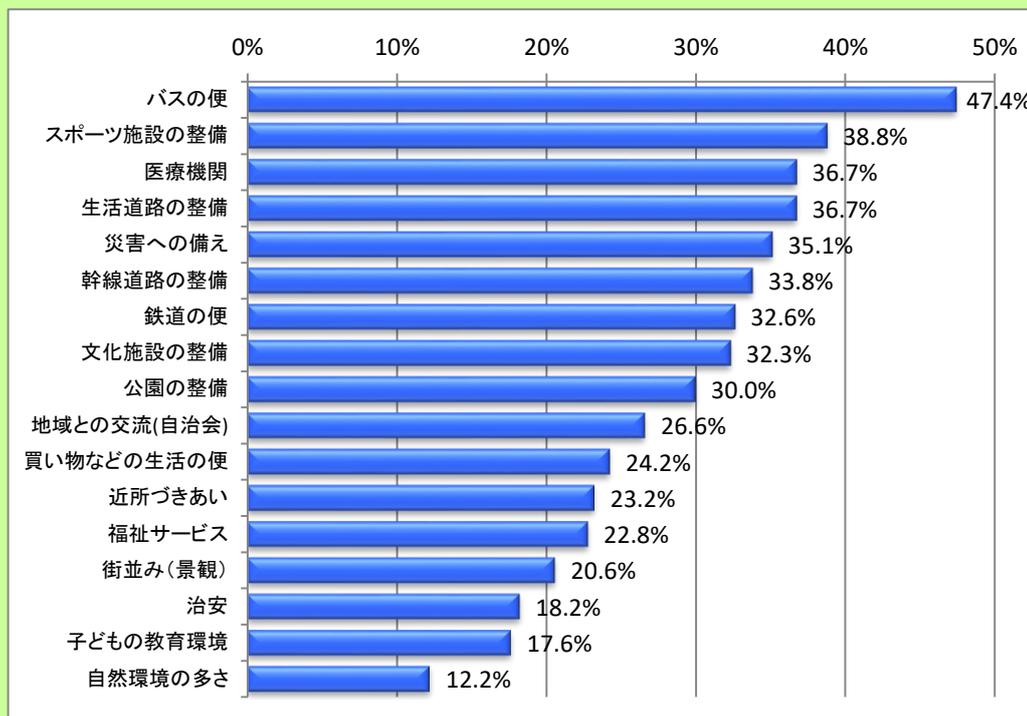
吉川市の住み心地の要素となる項目について「よい」と感じるか「わるい」と感じるか伺ったところ、「よい」と感じる方が最も多かったのは「自然環境の多さ」577人(84.7%)で、2番目が「治安」526人(77.2%)、3番目が「街並み(景観)」512人(75.2%)となりました。

前回の令和2年度調査と比較すると、「自然環境の多さ」は1.3ポイント増加、「治安」が0.9ポイント増加、「街並み(景観)」が2.2ポイント増加しています。



3-3. 吉川市の住み心地で「わるい」と感じる点

～ 住み心地を「わるい」と感じる点として、半数弱の回答者が「バスの便」をあげています ～



(該当するもの全て選択)

区分	実数	割合
バスの便	323	47.4%
スポーツ施設の整備	264	38.8%
医療機関	250	36.7%
生活道路の整備	250	36.7%
災害への備え	239	35.1%
幹線道路の整備	230	33.8%
鉄道の便	222	32.6%
文化施設の整備	220	32.3%
公園の整備	204	30.0%
地域との交流(自治会)	181	26.6%
買い物などの生活の便	165	24.2%
近所づきあい	158	23.2%
福祉サービス	155	22.8%
街並み(景観)	140	20.6%
治安	124	18.2%
子どもの教育環境	120	17.6%
自然環境の多さ	83	12.2%

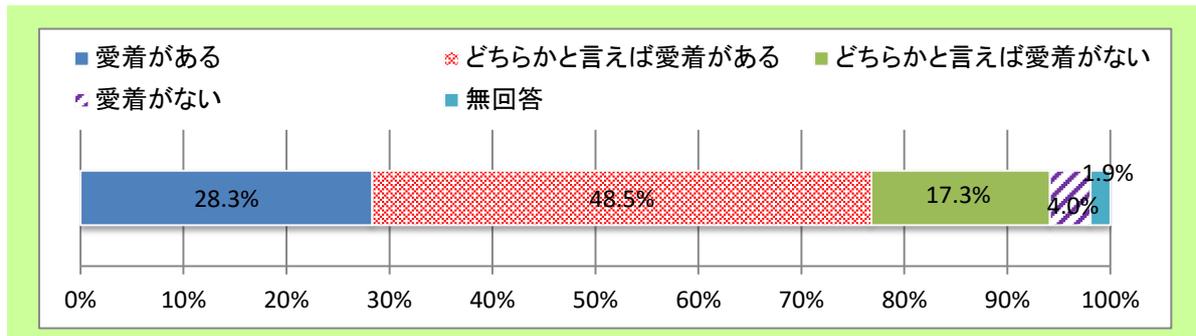
吉川市の住み心地の要素となる項目について「よい」と感じるか「わるい」と感じるか伺ったところ、「わるい」と感じる方が最も多かったのは「バスの便」323人(47.4%)で、2番目が「スポーツ施設の整備」264人(38.8%)、3番目が「医療機関」が250人(36.7%)となっています。

なお、「バスの便」が前年度調査から3.1ポイント減少、「スポーツ施設の整備」が5.3ポイント減少、「医療機関」が7.1ポイント減少しています。



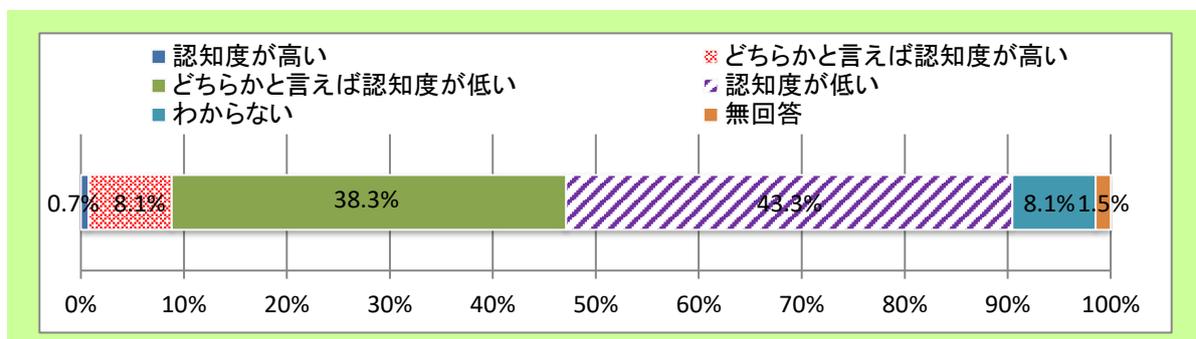
4-1. 吉川市への愛着心

～ 回答者の76.8%が
吉川市に「愛着がある・どちらかと言えば愛着がある」と思っています ～



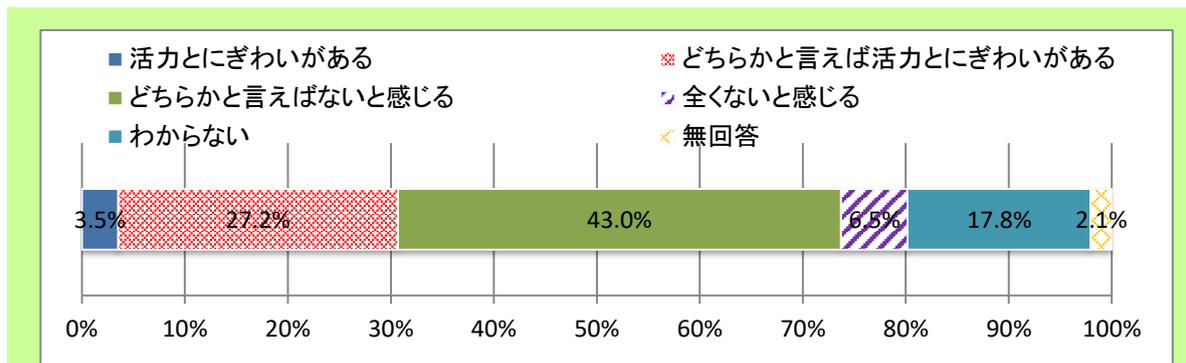
4-2. 吉川市の認知度

～ 回答者の81.6%が
吉川市は「どちらかと言えば認知度が低い・認知度が低い」と思っています ～



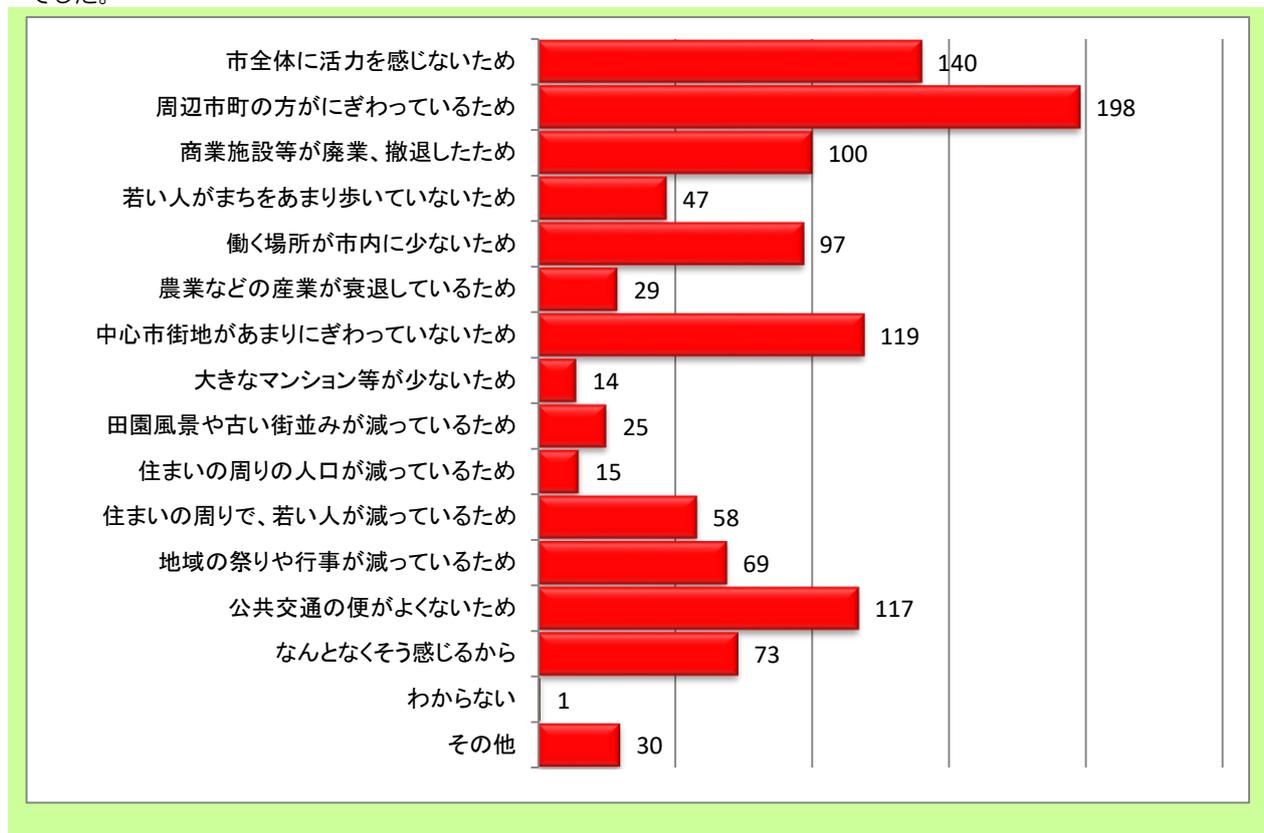
4-3. 吉川市の活力とにぎわい

～ 回答者の49.5%が、吉川市は「どちらかと言えばにぎわいが無い・全くないと感じる」と思っています ～



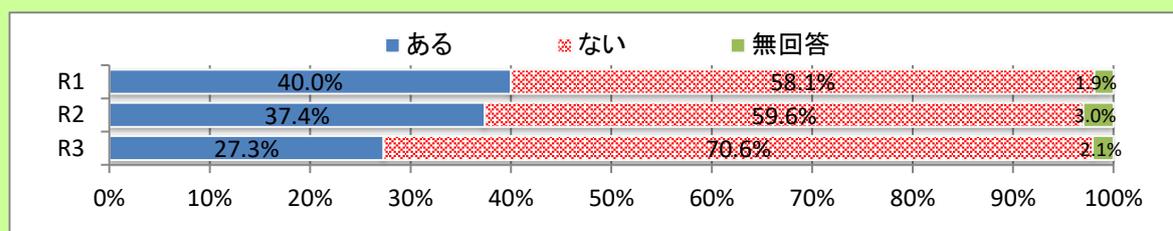
吉川市は活力とにぎわいがあると思うか伺ったところ、回答者の209人（30.7%）が「活力とにぎわいがある・どちらかと言えば活力とにぎわいがある」と回答しています。

一方で、「どちらかと言えば活力とにぎわいがない・全くない」337人（49.5%）と回答した理由は、次のとおりでした。（該当するもの全て選択）

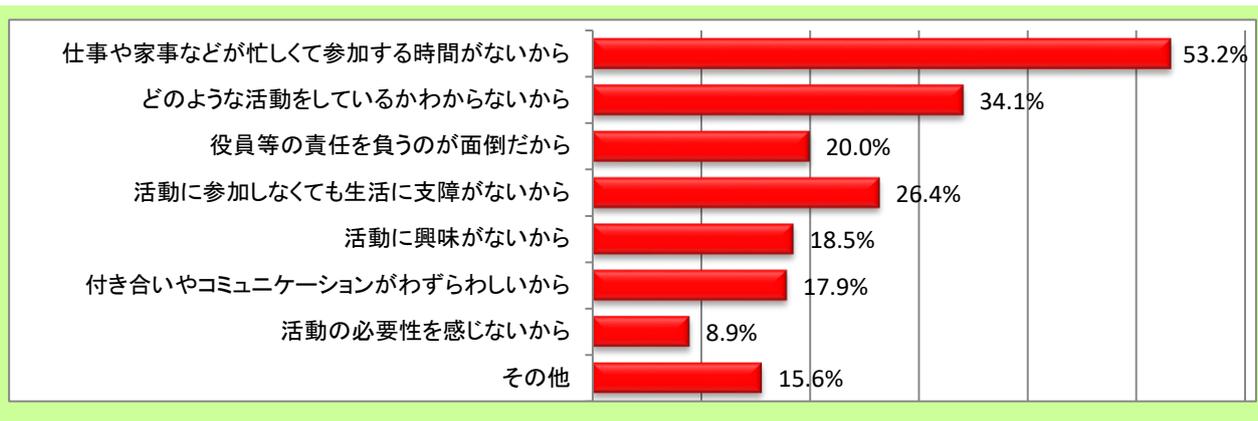


5-1. 自治会やボランティア、NPOなどの活動への参加状況

～ 回答者の27.3%が自治会やボランティア、NPOなどの活動に参加しています ～

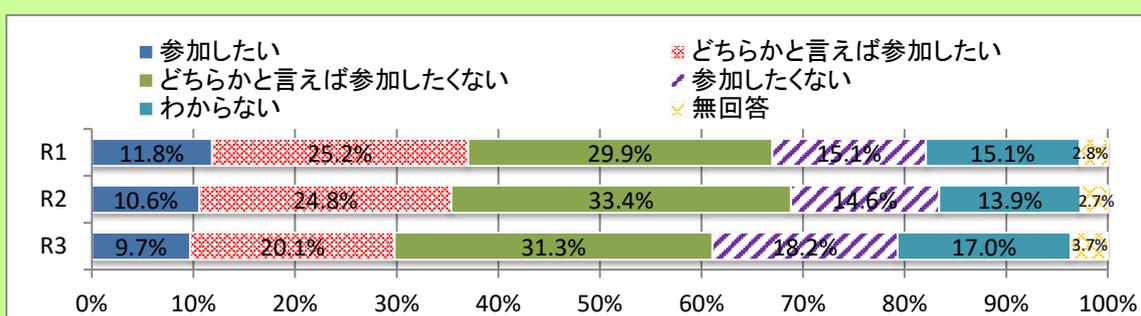


この1年以内に自治会やボランティア、NPOなどの活動に参加したことがあるか伺ったところ、回答者の27.3%（186人）が「ある」としており、前年度調査からは10.1ポイント減少しています。一方、「ない」と回答した方は、前年度から11.0ポイント増加して481人（70.6%）で、参加しなかった理由は次のとおりでした。（該当するもの全て選択）



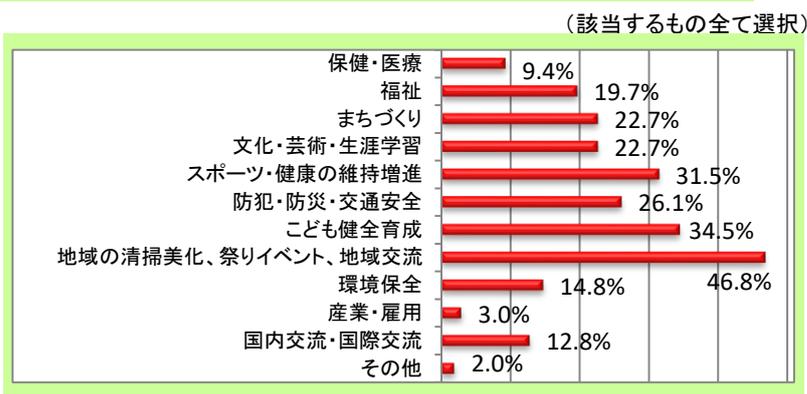
5-2. 自治会やボランティア、NPOなどの活動への参加意向

～ 回答者の29.8%が今後参加してみたいと考えています ～



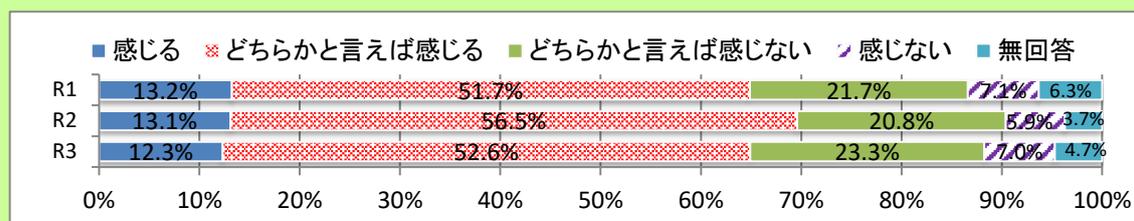
自治会やボランティア、NPOなどの活動への参加意向を伺ったところ、「参加したい・どちらかと言えば参加したい」と回答した方の割合は29.8%（203人）で、前年度調査から5.6ポイント減少しました。

「参加したい・どちらかと言えば参加したい」と回答した方に、参加したいと考える活動を伺ったところ、右のとおり、「地域の清掃美化、祭りイベント、地域交流」95人（46.8%）が最も多く、次いで「こども健全育成」70人（34.5%）の順に高い結果となりました。



5-3. 男女平等意識

～ 回答者の64.9%が男女が平等に活動できていると感じています ～



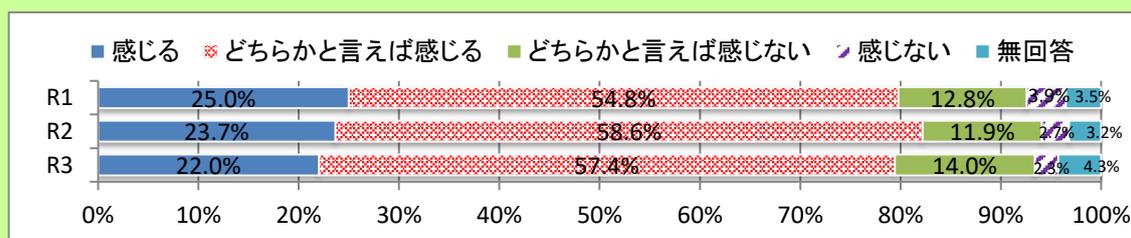
家庭や地域、職場などにおいて男女が平等に活動できていると感じるか伺ったところ、64.9%（442人）が「感じる・どちらかと言えば感じる」と回答しています。

「どちらかと言えば感じない・感じない」207人（30.3%）とした理由は次のとおりでした。
（該当するもの全て選択）

区分	平等でないと感じる場面		男性が優遇されている		女性が優遇されている	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
家庭生活で	70	33.8%	67	95.7%	3	4.3%
職場で	96	46.4%	90	93.8%	6	6.3%
社会通念や風潮で	110	53.1%	104	94.5%	6	5.5%
法律や制度上で	57	27.5%	50	87.7%	7	12.3%
地域社会や社会活動の場で	64	30.9%	58	90.6%	6	9.4%
学校教育で	16	7.7%	14	87.5%	2	12.5%

5-4. 差別や人権侵害、人権の保護

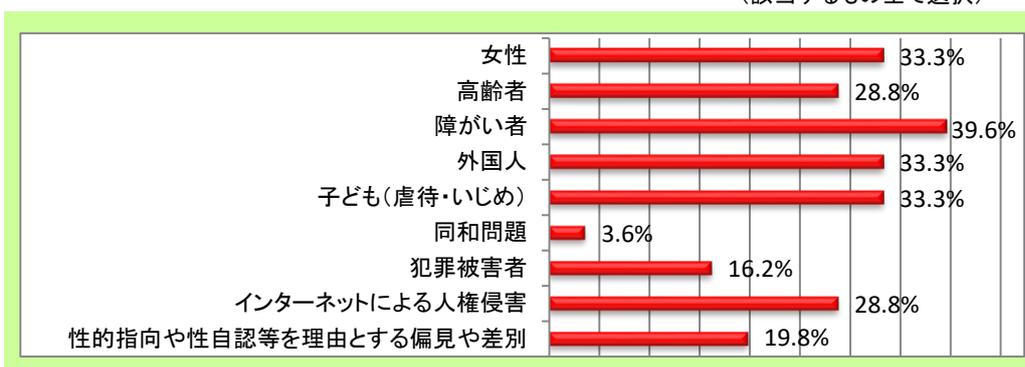
～ 回答者の79.4%が、差別や人権侵害がなく、人権が守られていると感じています ～



差別や人権侵害がなく、人権が守られていると感じるか伺ったところ、「感じる・どちらかと言えば感じる」と回答したのは541人（79.4%）でした。

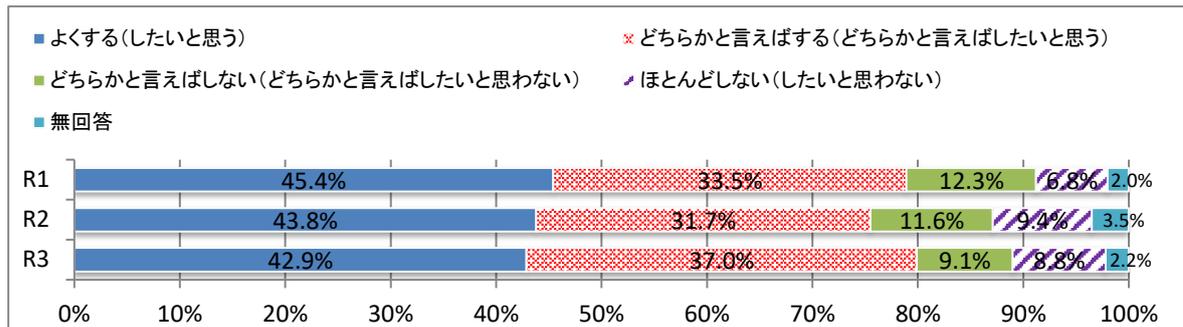
「どちらかと言えば感じない・感じない」111人（16.3%）と感じる主な分野は次のとおりでした。

（該当するもの全て選択）



5-5. 市内商店での買い物状況（意向）

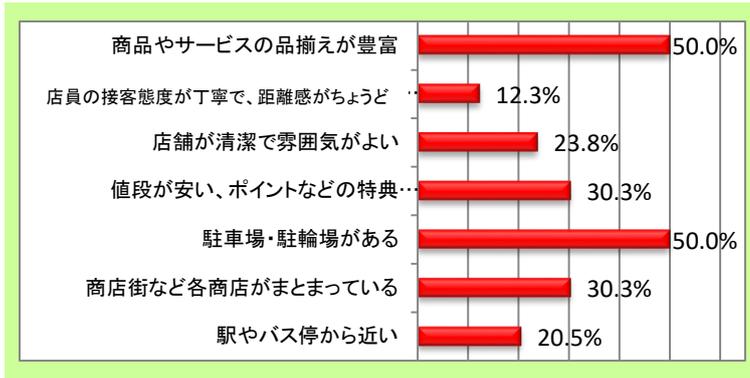
～ 回答者の79.9%が市内の商店を利用しています（したいと考えています） ～



市内の商店を利用するか（したいと思うか）伺ったところ、「よくする（したいと思う）・どちらかと言えばする（どちらかと言えばしたいと思う）」と回答したのは544人（79.9%）でした。

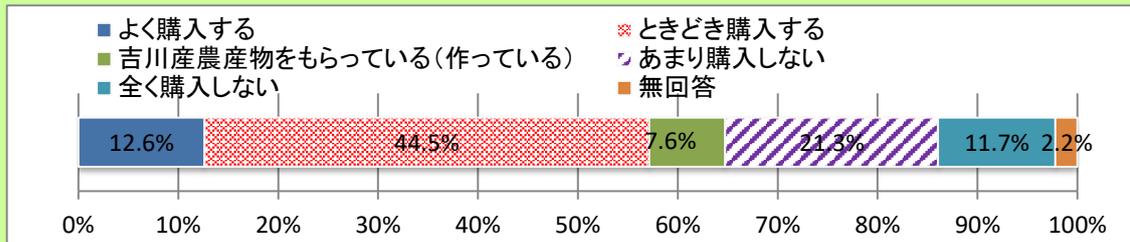
「どちらかと言えばしない（したいと思わない）・しない（したいと思わない）」122人（17.9%）と回答した方に、市内の商店を利用する（利用したい）と思うために必要と考えるものを伺ったところ、右のとおり「商品やサービスの品揃えが豊富」61人（50.0%）、「駐車場・駐輪場がある」61人（50.0%）が最も多く、次いで「値段が安い、ポイントなどの特典がある」37人（30.3%）、「商店街など各商店がまとまっている」37人（30.3%）でした。

（該当するもの全て選択）

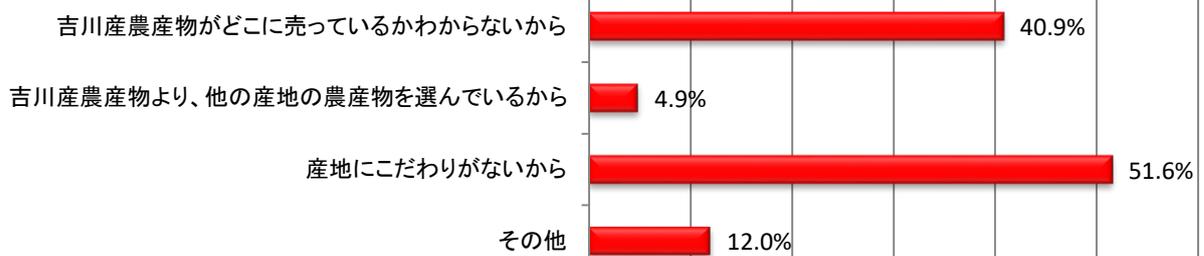


5-6. 吉川産農産物について

～ 回答者の57.1%が、吉川産農産物をよく、もしくはときどき購入しています ～

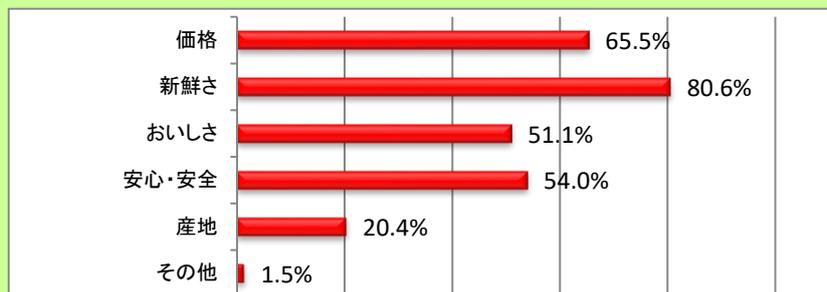


吉川産農産物を「あまり購入しない」「全く購入しない」と回答した方に理由を伺ったところ、次のとおりとなり、「産地にこだわりのないから」116人（51.6%）が最も多い回答となりました。（該当するもの全て選択）



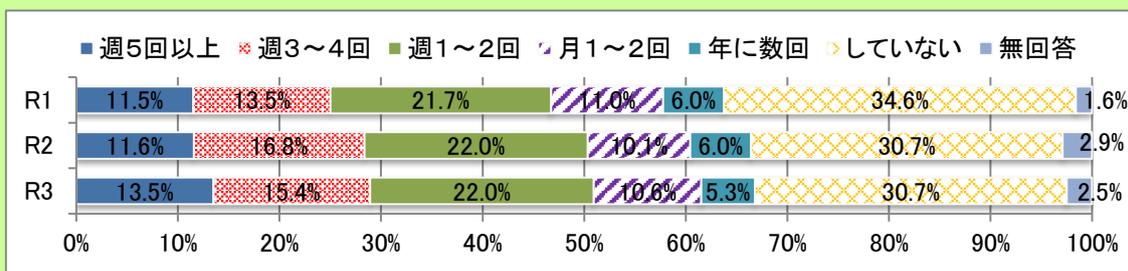
～ 農産物を購入する際は「新鮮さ」「価格」「安心・安全」が重視されています ～

（該当するもの全て選択）



6-1. 運動やスポーツの頻度

～ 回答者の50.9%が週1回以上運動やスポーツを行っています ～



運動やスポーツを行う頻度について伺ったところ、週1回以上運動やスポーツを行っている方は50.9%となり、前年度調査の50.4%からは0.5ポイント減少となりました。

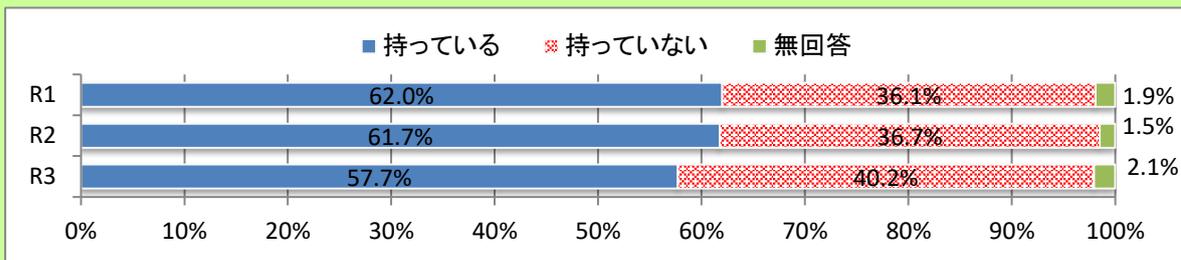
「運動やスポーツを行う」と回答した方に運動やスポーツを行う理由を伺ったところ、右のとおり「健康の維持・増進のため」300人（65.9%）が最も割合が高く、次いで「運動不足解消のため」288人（63.3%）、「ストレス解消のため」128人（28.1%）の順に高い結果となりました。

（該当するもの3つまで選択）



6-2. 「かかりつけ医」の有無

～ 回答者の57.7%が「かかりつけ医」を持っています ～



「かかりつけ医（歯科医を除く）」を持っているか伺ったところ、回答者の57.7%（393人）が「持っている」と回答しており、前年度調査からは4.0ポイント減少しています。
 「持っていない」274人（40.2%）を選んだ理由は次のとおりでした。（該当するもの全て選択）



区分	実数	割合
病気になっても医師の診療は受けたくないから	6	2.2%
「かかりつけ医」を必要とする病気になったことがないから	137	50.0%
病状等でその都度、受診先を決めており、特に決まった医師がないから	107	39.1%
病気にかかったらまず病院へ行くようにしているから	19	6.9%
「かかりつけ医」にしたいような診療所がないから	41	15.0%

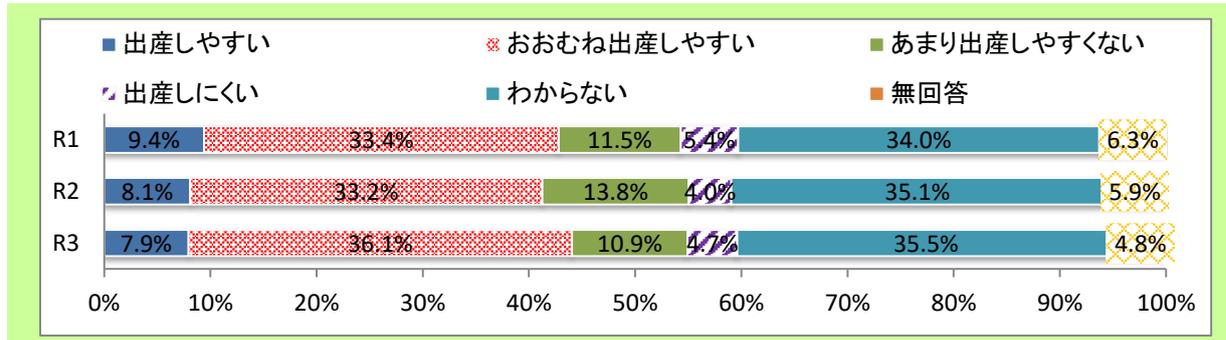
また、「持っていない」（40.2%）方が病気にかかったときに受診しようとする医療機関について伺ったところ、次のとおりでした。

（該当するもの全て選択）

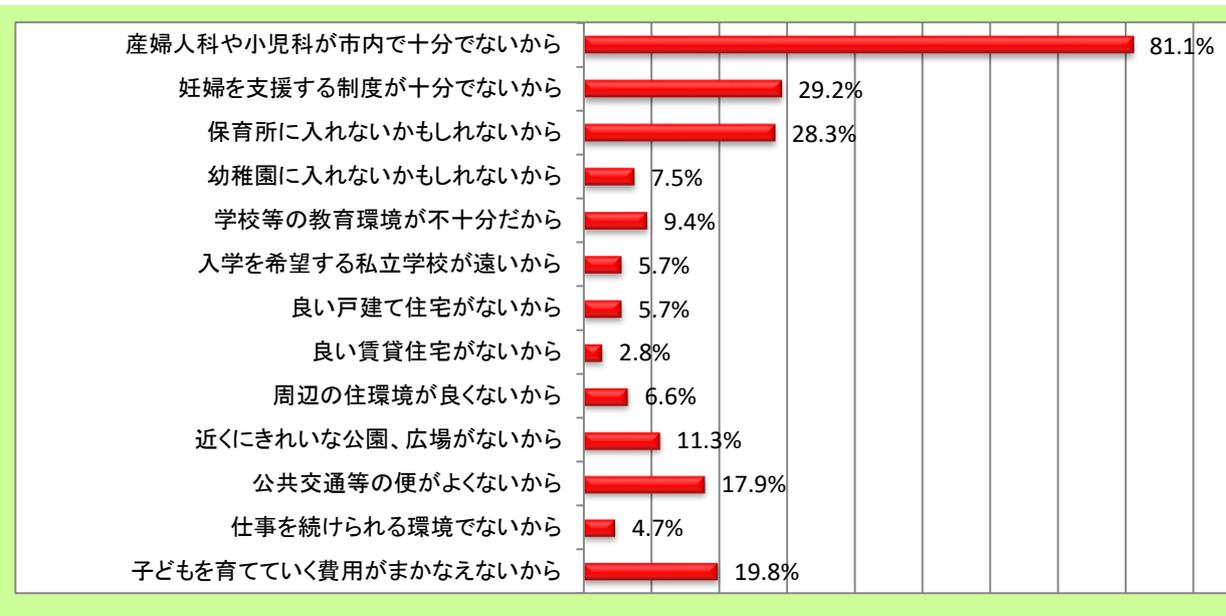
区分	実数	割合
市内の医療機関	172	62.8%
埼玉県内(市外)の医療機関	71	25.9%
県外の医療機関	28	10.2%
総合病院・大学病院などの医療機関	41	15.0%
病状等でその都度決めるので、わからない	53	19.3%

7-1. 吉川市の出産環境

～ 回答者の44.0%が吉川市の環境が「出産しやすい・おおむね出産しやすい」と感じています ～

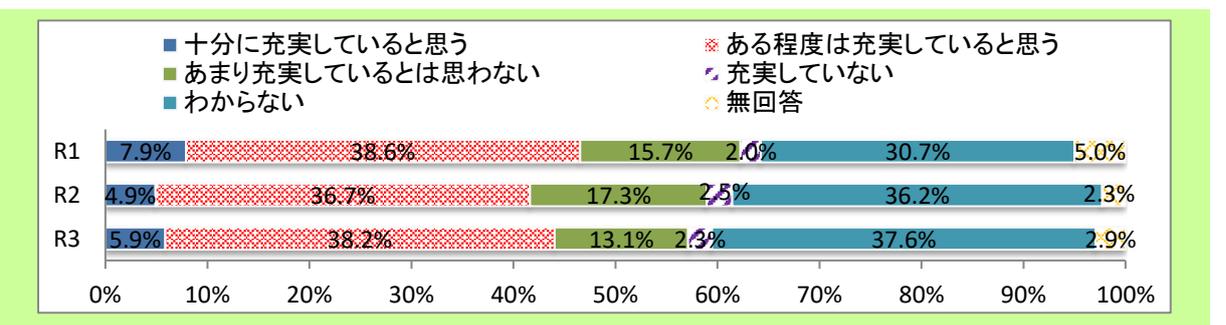


吉川市は子どもを出産しやすい環境にあると思うかを伺ったところ、回答者の44.0%（300人）が「出産しやすい・おおむね出産しやすい」と回答しており、令和2年度調査の41.3%からは2.7ポイント増加となりました。「あまり出産しやすすくない」74人（10.9%）、「出産しにくい」32人（4.7%）としている理由は、次のとおりでした。（該当するもの全て選択）



7-2. 吉川市の子どもは目標に向かって充実した生活を送っているか

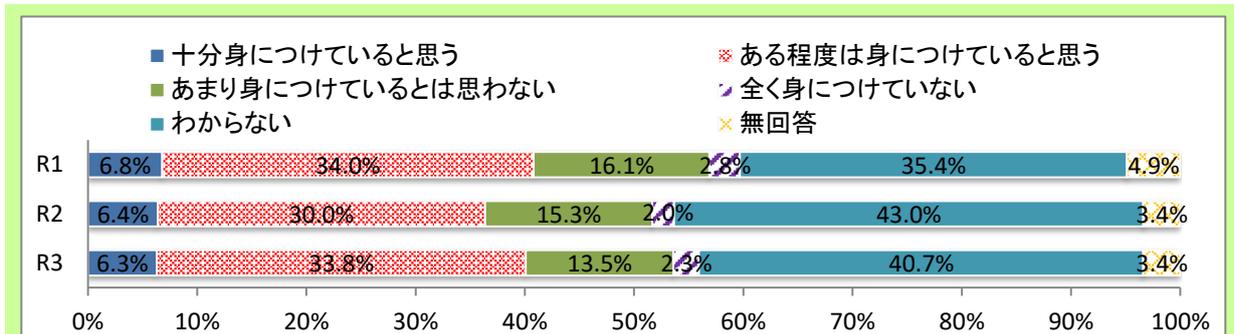
～ 吉川市の子どもが、目標に向かって充実した生活を送っているかについて、回答者の44.1%が「十分に充実している・ある程度は充実している」と感じています



7-3. 吉川市の子どもは「未来を生きる力」を身に付けているか

～ 回答者の40.1%が吉川市の子どもは「未来を生きる力」(※)を「十分身につけている・ある程度は身につけている」と感じています ～

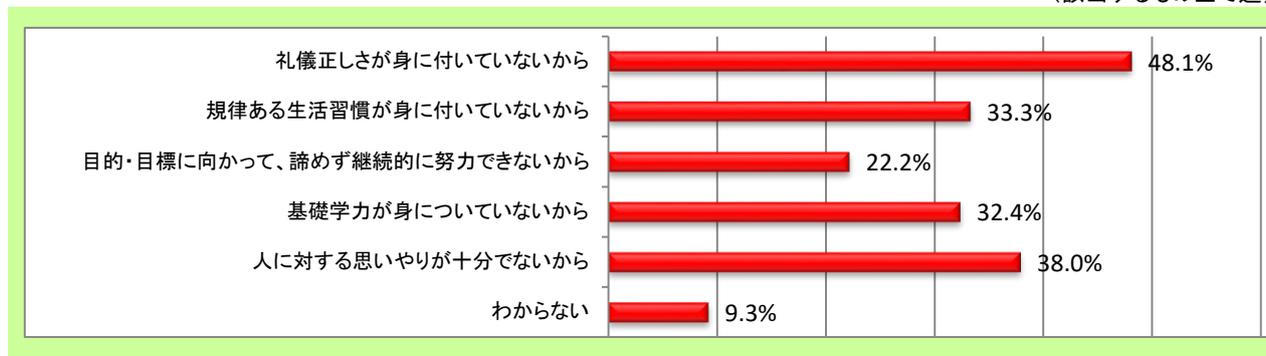
※「未来を生きる力」とは、礼儀正しさや約束・決まり事を守るなど、規律ある生活習慣を身に付け、目的・目標に向かって、諦めず継続的に努力できることを指します。



吉川市の子どもが「未来を生きる力」を身につけていると思うか伺ったところ、回答者の40.1%が「十分身につけていると思う・ある程度は身につけていると思う」(273人)と回答しており、前年度調査の36.4%からは、3.7ポイント増加しています。

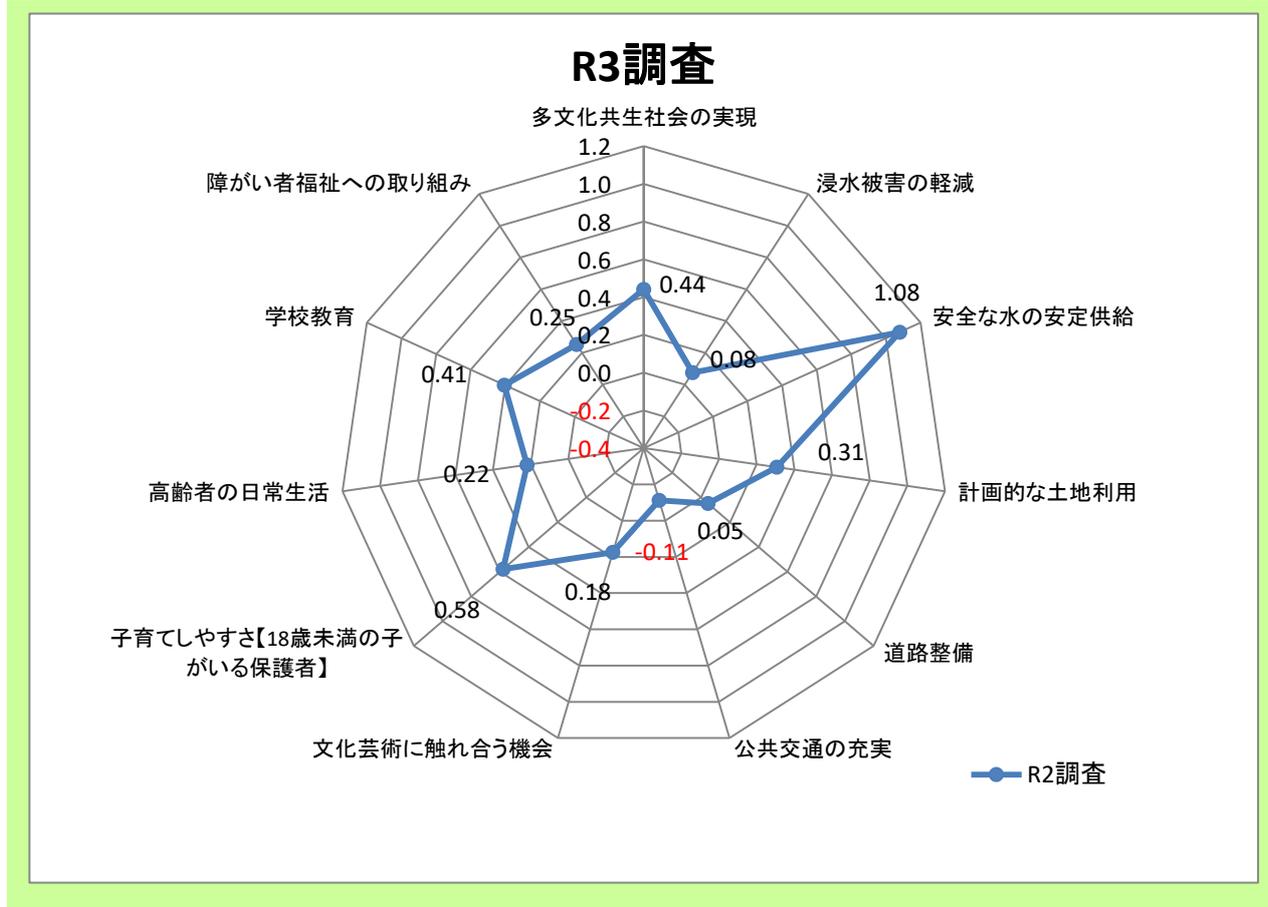
一方で、「あまり身につけているとは思わない・全く身につけていない」108人(15.8%)と思う理由は、次のとおりでした。

(該当するもの全て選択)



8-1. 吉川市の取り組みについての満足度

～ 満足度トップ3は「安全な水の安定供給」「子育てしやすさ」「多文化共生社会」
不満足度トップ3は「公共交通の充実」「道路整備」「浸水被害の軽減」～



吉川市の取り組みについての満足度を伺い、その回答を「満足」2ポイント、「どちらかと言えば満足」1ポイント、「どちらかと言えば不満」マイナス1ポイント、「不満」マイナス2ポイントに変換して、レーダーチャートを作成しました。

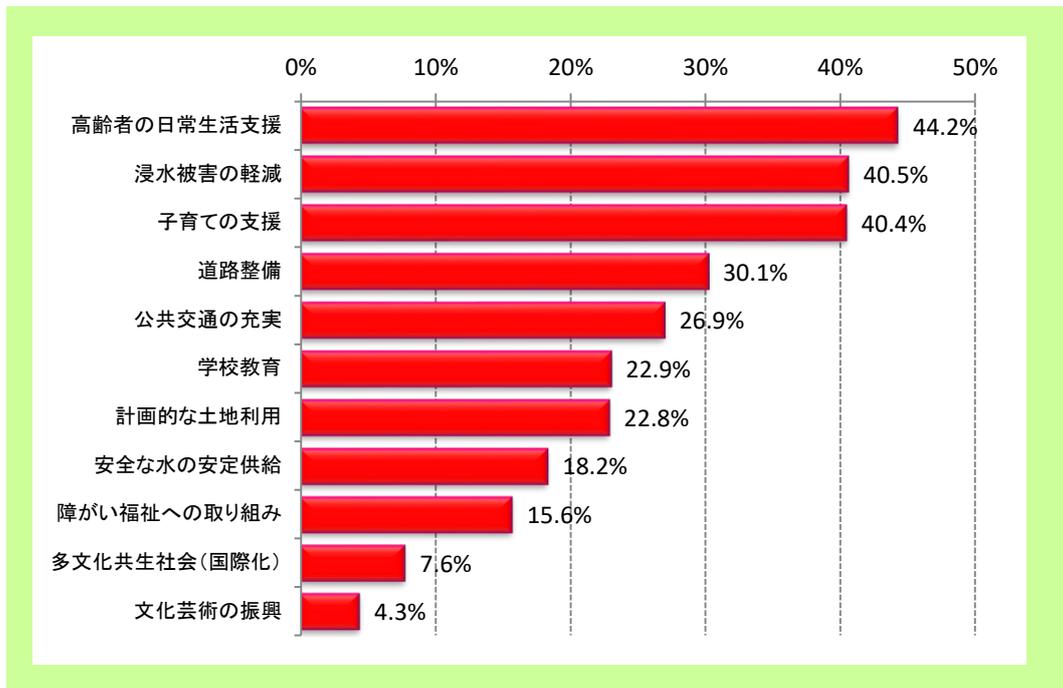


満足度がプラスの項目は、「安全な水の安定供給(1.08)」、「子育てのしやすさ(0.58)」、「多文化共生社会(0.44)」、「学校教育(0.41)」、「計画的な土地利用(0.31)」、「障がい者福祉への取り組み(0.25)」、「高齢者の日常生活支援(0.22)」、「芸術文化に触れあう機会(0.18)」、「浸水被害の軽減(0.08)」、「道路整備(0.05)」の10項目となっている。

一方で、満足度がマイナスの項目は、「公共交通の充実(-0.11)」の1項目となっている。

8-2. 吉川市の取り組みについての重要度

～ 市の取り組みで重要と感じる上位3項目として、
「高齢者の日常生活支援」「浸水被害の軽減」「子育ての支援」をあげられています～



(3つ選択)

区分	実数	割合
高齢者の日常生活支援	301	44.2%
浸水被害の軽減	276	40.5%
子育ての支援	275	40.4%
道路整備	205	30.1%
公共交通の充実	183	26.9%
学校教育	156	22.9%
計画的な土地利用	155	22.8%
安全な水の安定供給	124	18.2%
障がい福祉への取り組み	106	15.6%
多文化共生社会(国際化)	52	7.6%
文化芸術の振興	29	4.3%

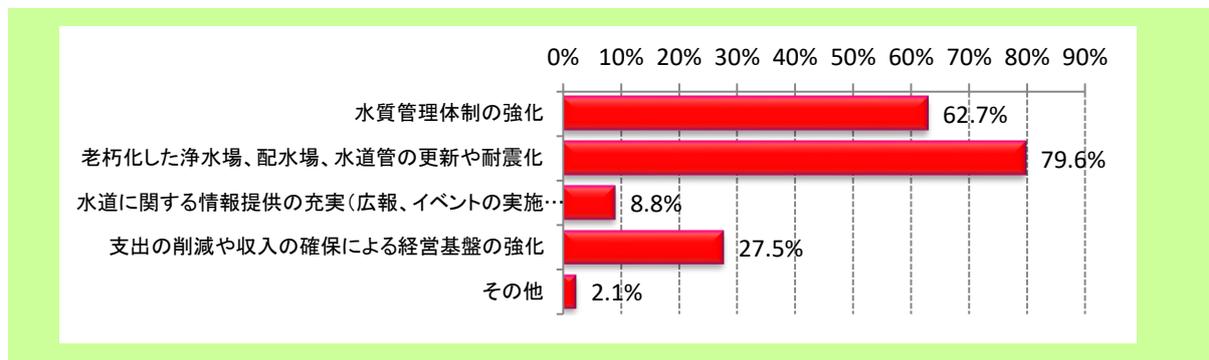
吉川市の取り組みの重要度について伺った結果、「高齢者の日常生活支援」が301人(44.2%)で最も多く、2番目「浸水被害の軽減」が276人(40.5%)、3番目「子育ての支援」が275人(40.4%)となりました。



9. 特集①「吉川市の水道」について

～ 回答者の79.6%が「老朽化した浄水場、配水場、水道管の更新や耐震化」
62.7%が「水質管理体制の強化」を重視しています ～

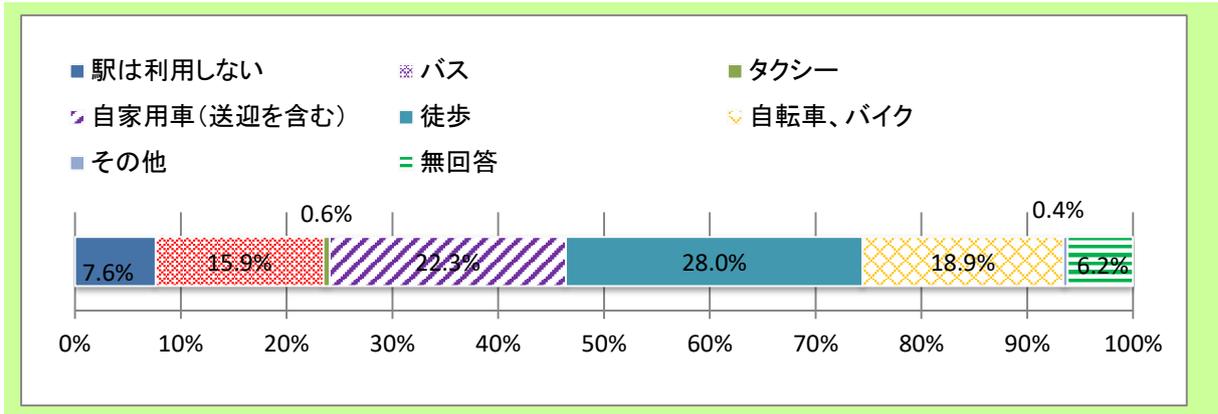
(2つ選択)



吉川市水道事業が特に力を入れて取り組むべきことについて伺ったところ、回答者の6割以上が「老朽化した浄水場、配水場、水道管の更新や耐震化」542人（79.6%）、「水質管理体制の強化」427人（62.7%）と回答しています。

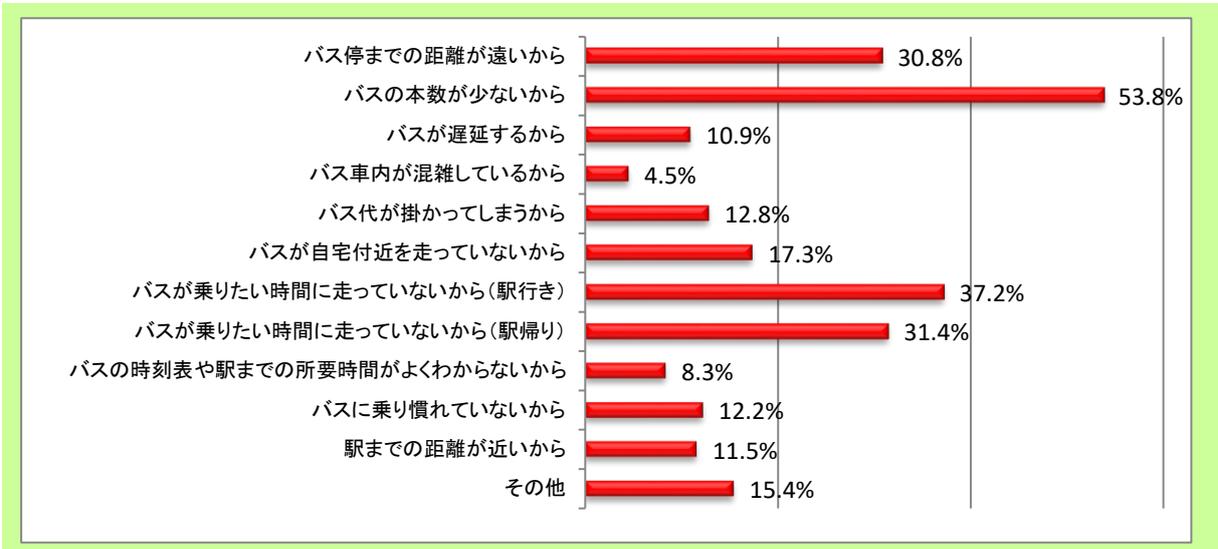
9. 特集② 駅までの交通手段について「晴天時」

～ 晴天時の駅までの交通手段上位3項目は
「徒歩」「自家用車（送迎を含む）」「自転車、バイク」



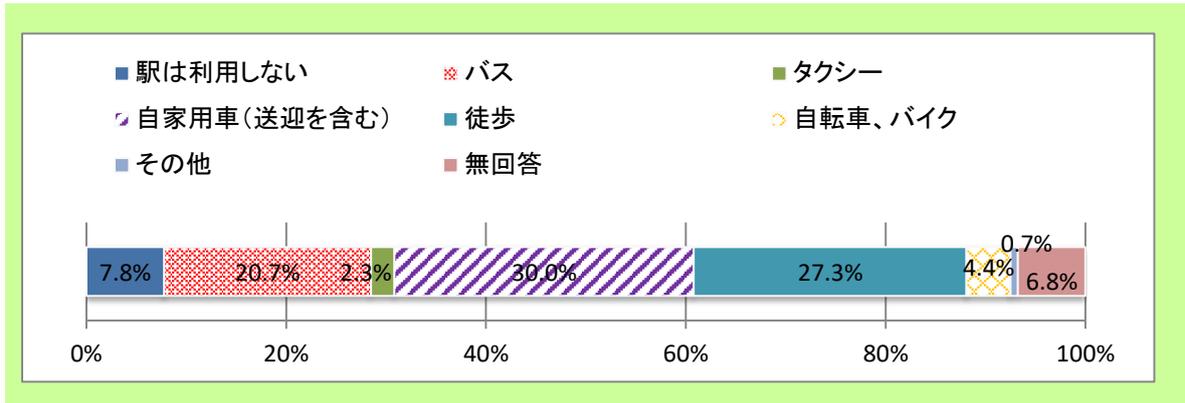
晴天時の駅までの交通手段を伺ったところ、「徒歩」191人（28.0%）が最も割合が大きく、次いで「自家用車（送迎を含む）」152人（22.3%）、「自転車、バイク」129人（18.9%）の順に高い結果となりました。
晴天時に「タクシー」、「自家用車（送迎を含む）」を利用すると回答した方がバスを利用しない理由は、次のとおりでした。

（該当するもの全て選択）



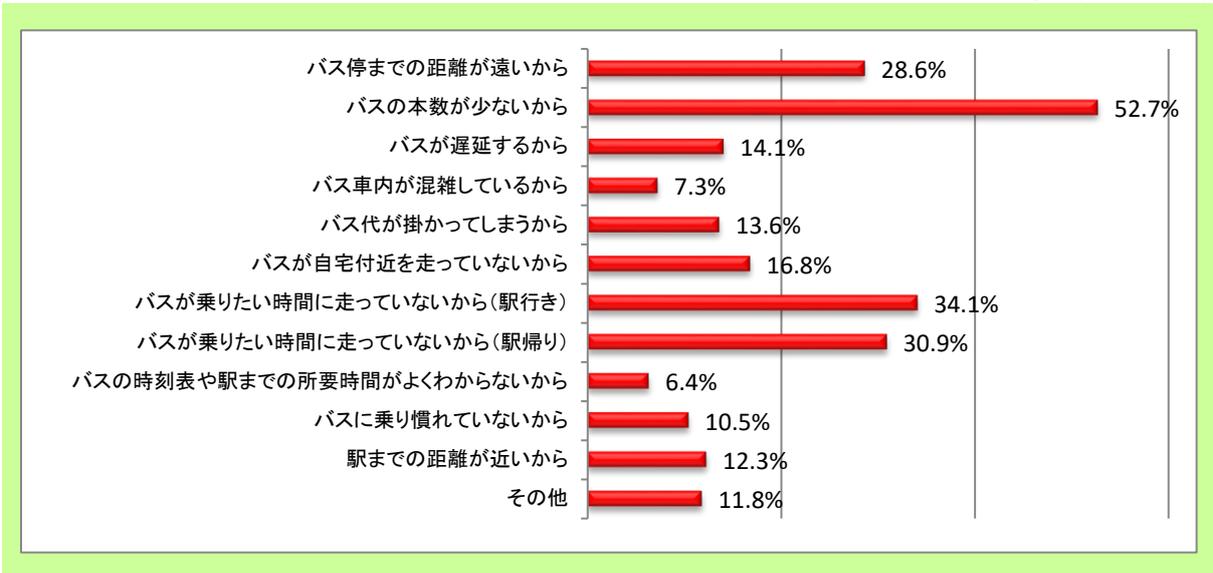
9. 特集② 駅までの交通手段について<<雨天時>>

～ 雨天時の駅までの交通手段上位3項目は
「自家用車（送迎を含む）」 「徒歩」 「バス」 ～



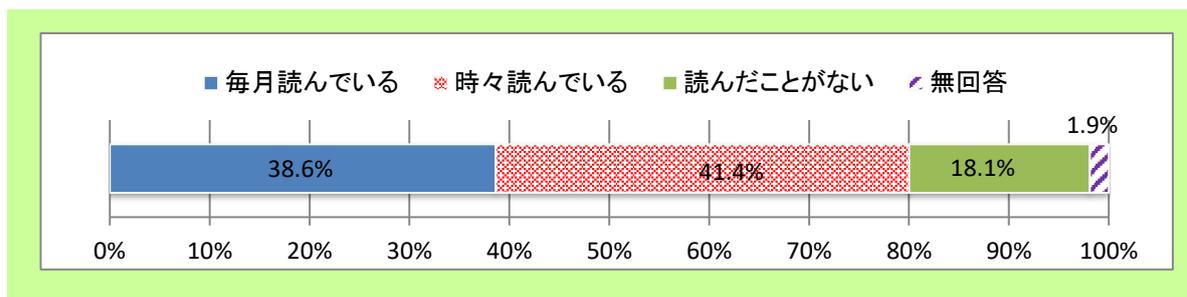
雨天時の駅までの交通手段を伺ったところ、「自家用車（送迎を含む）」204人（30.0%）、「徒歩」186人（27.3%）、次いで「バス」141人（20.7%）の順に高い結果となりました。

雨天時に「タクシー」、「自家用車（送迎を含む）」を利用すると回答した方がバスを利用しない理由は、次のとおりでした。
(該当するもの全て選択)

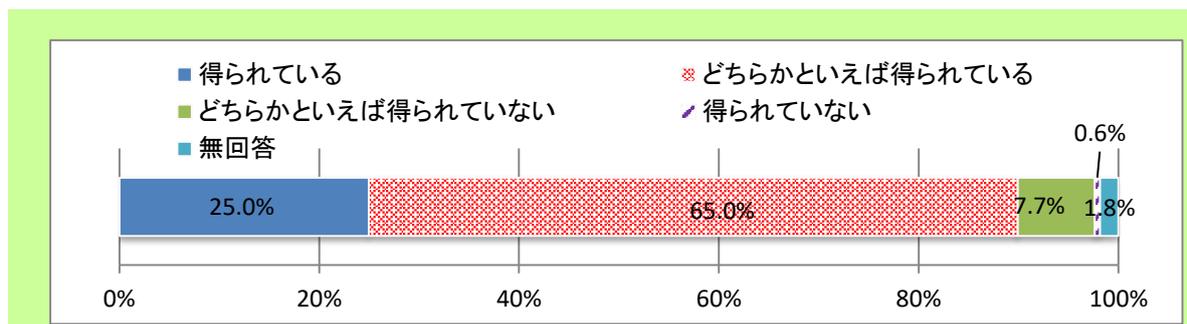


9. 特集③「市からの情報発信」<<広報よしかわ>>

～ 回答者の38.6%が「広報よしかわ（市ホームページ、マチイロ含む）」を毎月読んでいると回答している ～

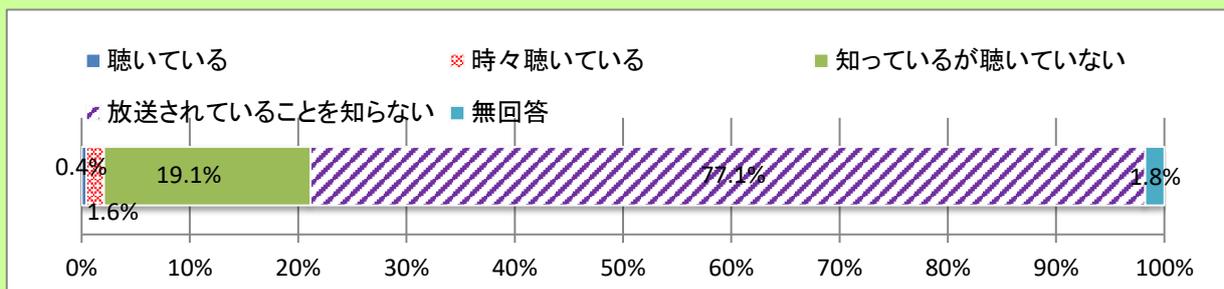


～ 回答者の90.0%が「広報よしかわ」により市政情報が得られていると回答している ～



9. 特集③「市からの情報発信」◀FMこしがや 吉川市のラジオコーナー▶

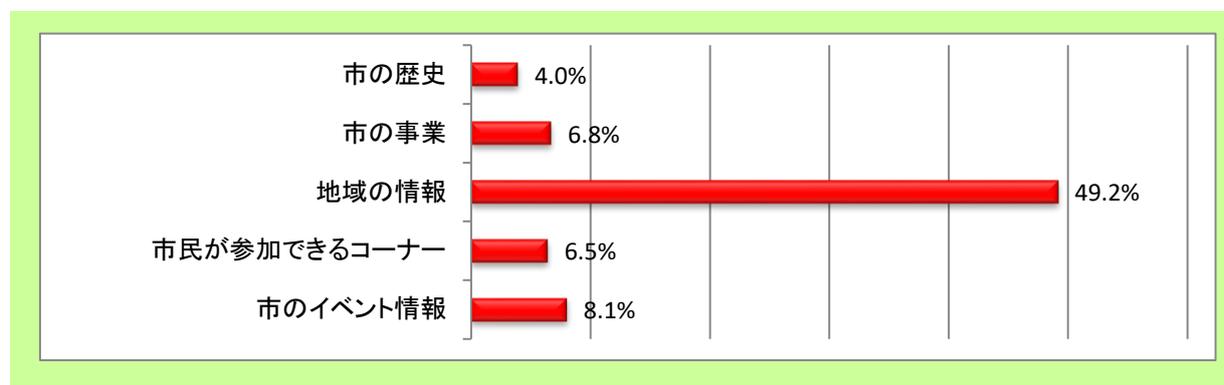
～ 回答者の77.1%が「放送されていることを知らない」と回答している ～



◆聴いてみたい放送内容について

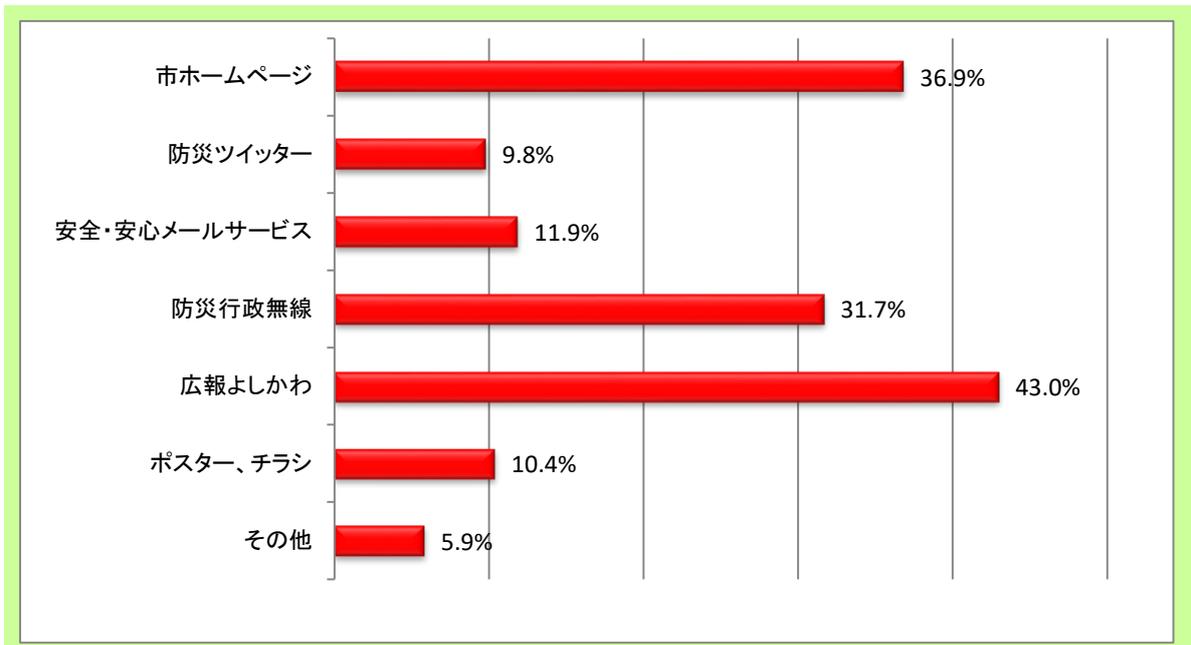
「吉川市のラジオコーナー 金のなます」で聴いてみたい放送内容について伺ったところ、「地域の情報」が335人（49.2%）でトップとなりました。

(1つ選択)

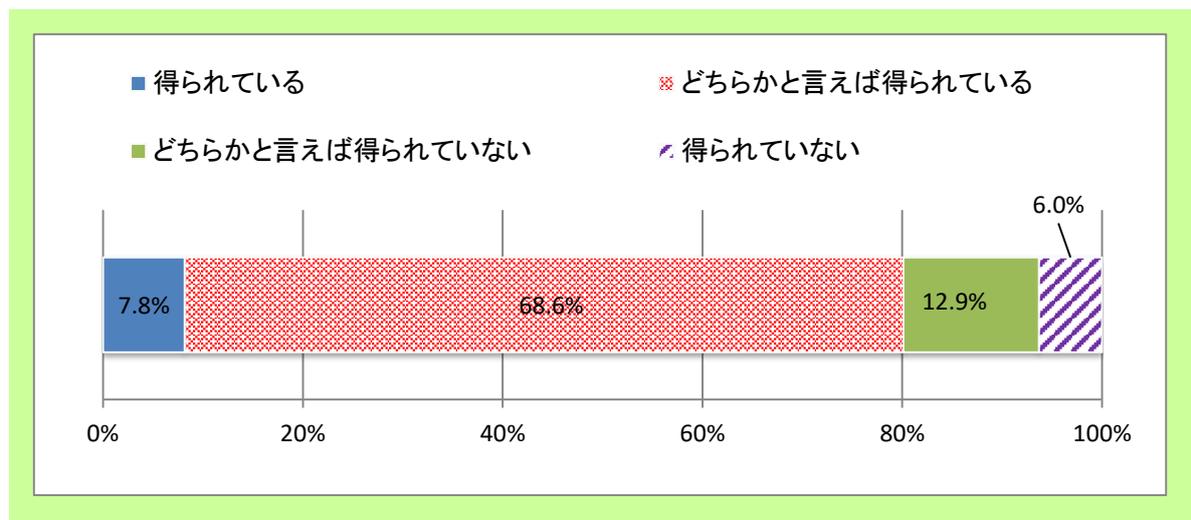


9. 特集③「市からの情報発信」◀防災・減災についての情報発信▶について

～ 回答者の3割以上が「広報よしかわ」「市ホームページ」「防災行政無線」で
防災・減災、防犯についての情報を得ていると回答している ～

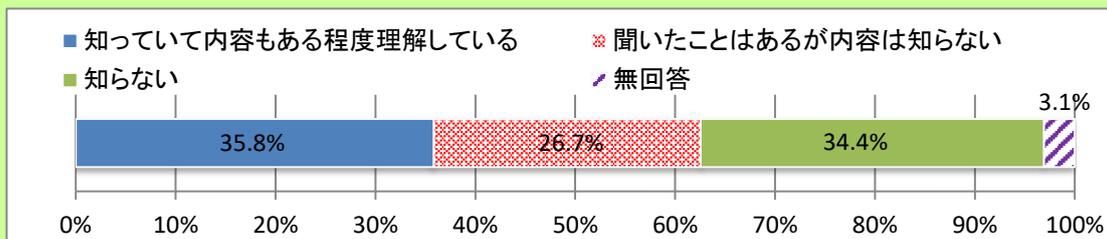


～ 回答者の76.4%が防災・減災、防犯について、市から必要な情報を
「得られている」「どちらかといえば得られている」
と回答している ～

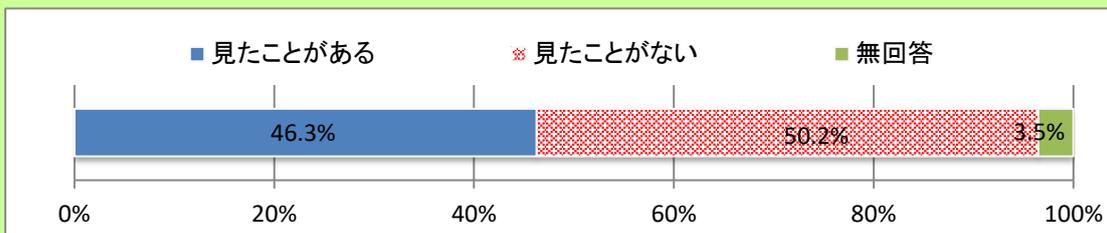


9. 特集④「SDGs(持続可能な開発目標)の認知度・関心度」

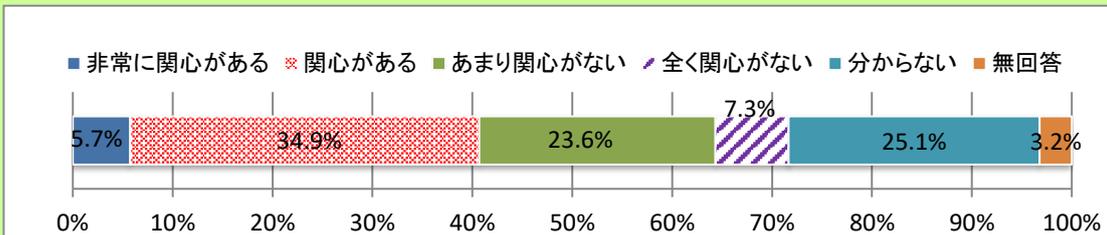
～ 回答者の35.8%がSDGsについて「知っている」と回答している ～



～ 回答者の50.2%がSDGsのロゴマークについて「見たことがない」と回答している ～

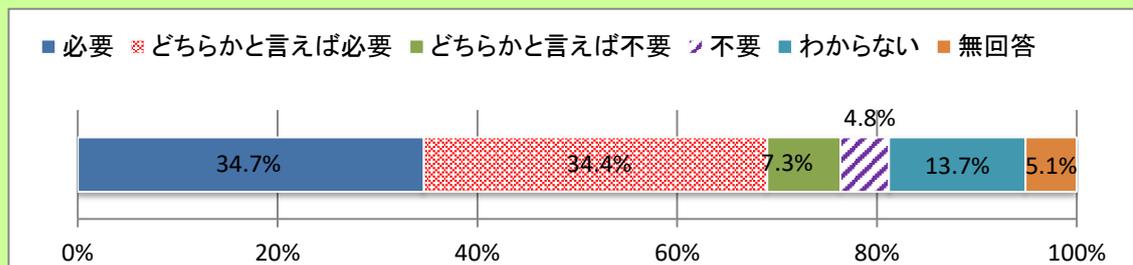


～ 回答者の40.6%がSDGsへの関心について「非常に興味がある」、「興味がある」と回答している ～

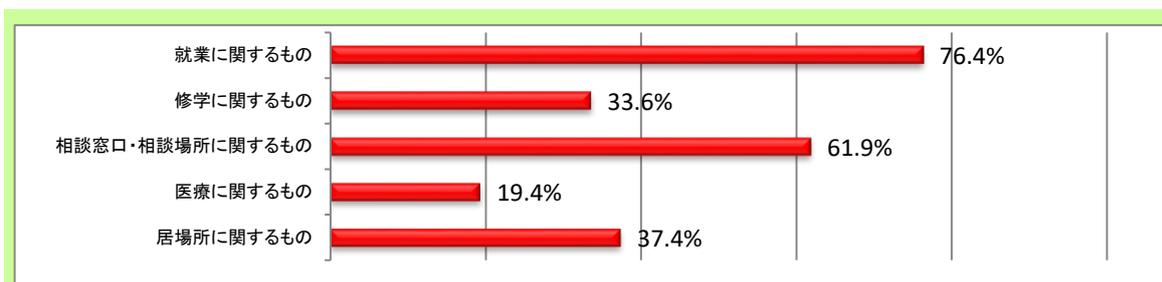


9. 特集⑤「吉川市の若者について」《若者への支援》

～ 回答者の69.1%が若者に対する公的支援や対策が
「必要」「どちらかと言えば必要」と回答している ～



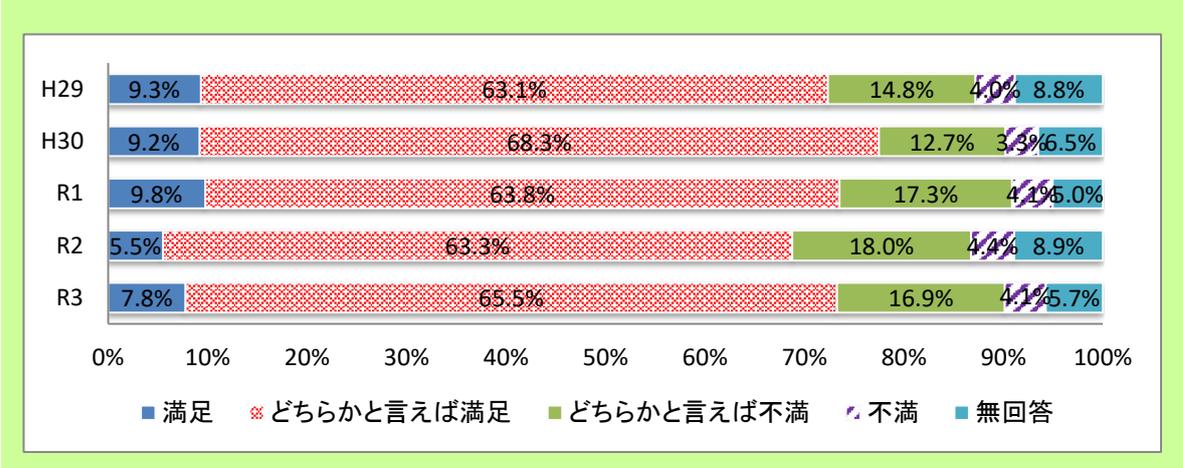
～ 回答者の76.4%が「就業に関する支援や対策が必要」と回答している ～



10. 吉川市全体の取り組みに対する満足度

～ 回答者の73.3%が市民サービスへの取り組みについて「満足」・「どちらかと言えば満足」と感じています

吉川市全体の取り組みに対する満足度を伺ったところ、「満足」53人（7.8%）、「どちらかと言えば満足」446人（65.5%）、「どちらかと言えば不満」115人（16.9%）、「不満」28人（4.1%）となりました。
 「満足・どちらかと言えば満足」（73.3%）は、前年度調査（68.8%）と比較して、4.5ポイント増加しています。



(1つ選択)

区分	H29	H30	R1	R2	R3	
					回答数	割合
満足	9.3%	9.2%	9.8%	5.5%	53	7.8%
やや満足	63.1%	68.3%	63.8%	63.3%	446	65.5%
やや不満	14.8%	12.7%	17.3%	18.0%	115	16.9%
不満	4.0%	3.3%	4.1%	4.4%	28	4.1%
無回答	8.8%	6.5%	5.0%	8.9%	39	5.7%
母数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	681	100.0%

この概要版は、令和3年度市民意識調査報告書に掲載した内容の一部を記載したものです。

発行月 令和3年12月
発行 吉川市政策室
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地
048-982-9445 (直通)